

## ○北森建支部便り○ 釧路支部の取組み

### 『白糠町海岸防災林植樹祭』に参加

道東にも遅い春が訪れた平成 27 年 5 月 26 日、釧路管内の白糠町和天別において、北海道庁と白糠町緑化推進委員会の主催で「白糠町海岸防災林植樹祭」が開催されました。

道では、平成 23 年 3 月の東日本大震災による津波災害の発生を教訓に、津波の減災対策の一環として、効果的な海岸防災林の整備について検討作業と現地実証に取り組み、そのモデル地区として、白糠町役場から西に約 2 キロほど離れる太平洋に面した海岸地域が設定されました。

この度の植樹祭は、津波被害の軽減を図るうえで、防災林の整備というハード事業とともに地域住民の防災意識の向上というソフト対策も欠かせないことから、主催者の呼び掛けで地元の地域関係者が一体となって開催することとなったものです。

北森建釧路支部では、こうした取組みに賛同して植樹用のスコップを提供するとともに、植樹祭には山中 博支部長（葵建設 kk）はじめ会員企業から 16 名が参加しました。

当日は、薄曇りの肌寒い天気でしたが、地域の方々と道や役場の職員など約 200 名が集まり、道水産林務部の山崎部長より、「堀と盛土で津波の力を軽減させる方法は初めての試みであり、白糠から全道、全国に広げたい」とのお話の後、高さ 4 メートルの盛土の上にカラマツ製の防風柵で囲まれた場所で、参加者はそれぞれスコップを手にしてカシワやケヤマハンノキ、ドロノキの苗木を約 1 時間かけて植えました。

今後、道では防災林帯や避難経路の整備、検証等を行っていくとのことであり、森林に期待される役割が十分に果たされるよう、釧路支部としても森林パトロールなど連携した取組みを進めていきたいと考えています。

北森建釧路支部事務局長 佐々木 重廣（葵建設株式会社）



カシワを植える小松道議と山崎部長(左)



植樹祭に参加された方々